

第31回 飛騨市新型コロナウイルス対策本部会議

日 時：令和2年4月6日（月）午前8時30分～

場 所：本庁舎2階 会議室

1. あいさつ

昨日、岐阜県教育委員会より学校休業延長の対応要請があり、飛騨市としても対応することとした。

近々、総理が緊急事態宣言を発表する可能性がある。期間と地域を区切ることと危機感を高めることが緊急事態宣言のポイントである。専門家会議の諮問をどのようなプロセスでできるのかよく注目しながら動きを見てください。

「自分は感染した。感染している」という前提で物事を考えること。行政職員として困っている人たちのことを考えて行動しなければならない、困っている人をどのようにサポートするのか、見方をしっかり持って行動してほしい。

2. 新型コロナウイルスへの対応等について

[市民保健課]

- ・引き続き、感染予防の啓発、室内換気の啓発を同報無線で呼びかけを行う。
- ・マスク、手指消毒用エタノールの確保・配布状況について報告

[市民病院中林先生]

・さまざまな専門家が全国流行を伝える重要な局面だと報じている。強いソーシャルディスタンス（感染拡大を防ぐため人と人の距離を離すこと）措置が必要と見解が一致していると思われる。

[市民病院]

- ・週末から面会禁止として取り組みを行っているが、あまり効果が出ていない。

[商工観光部]

- ・3月27日から行っている飛騨市の宿泊、飲食の定点観測について報告
- ・先週土日で状況が変わってきた。特に飲食関係については、厳しくなると思われる。
- ・バス運行については、各方面への減便がなされている。

[農林部]

- ・外国からの農業用資材が入らなくなっている。現在代用品を探している。
- ・畜産農家向けの資金融資説明会が今後行われる予定。

[総務部]

- ・県の感染症対策協議会の結果を受け、職員の感染症予防対策を本日から行っているため周知をお願いする。

[企画部]

- ・4月3日に古田肇岐阜県知事より全ての県民に対するメッセージが発出され、都竹市長から市民の皆さんへ向けた飛騨市版「ストップ新型コロナ2週間作戦」についての市長メッセージを放送している。
- ・「ストップ新型コロナ2週間作戦」の要約文書も作成しているため周知を行う。

[教育委員会]

・昨日、県教育委員会から4月19日までの市町村での休業要請を受け、児童生徒の健康・安全と感染拡大防止のため飛騨市内小中学校でも臨時休業することとした。混乱を避けるため、本日の入学式、始業式は行うこととし、7日に休業に向けた準備を行い、4月8日（水曜日）から19日（日曜日）まで臨時休業とする【決定】

- ・臨時休業中の保護者が不在となり児童生徒だけの生活な困難な場合は、各小中学校での児童生徒の受け入れの検討を行う。
- ・教育委員会関係で休館している施設があるため、周知および関連業務の対応を検討する。
- ・休業に伴い給食センターも休止となるため併せて検討を行う。

[消防]

- ・県操法大会および市操法大会は中止とする。

[河合振興事務所]

- ・主婦で行っている縫製会社より布マスクを小学校に寄付する予定
- ・高山市内ホテルの影響で、養魚業者への影響があるため今後協議を行う。

[神岡振興事務所]

- ・知事メッセージ、市の方針を受け町内の指定管理施設へ電話聞き取り調査を行った。一部苦言もあったが大きな影響は出ていない模様。

[宮川振興事務所]

- ・4月13日に予定していた区長会は中止とする。

[飛騨県事務所]

- ・県内の感染者が58人。PCR検査人数も増加している。
- ・県では本日から半数の職員が在宅勤務としている。県事務所も同様に半数在宅勤務としている。
- ・保健所については別室を準備し、職員と別の環境で業務が行えるよう準備している。
- ・休業対応する中で、声の出せない弱者の方の声に耳を傾けながら対応したい。

[危機管理課]

- ・本日から職員全員マスク着用となっている。会計年度任用職員の皆さんにも周知と連絡メールの登録をお願いしたい。

3. 今後の方針について

4月19日までの臨時休業については、現在の状況から考えるとそのまま延長される可能性がある。2週間で終わらない可能性があることを念頭に、先のこととも考えていく。

給食関係についても期間が長くなるため、補償なども含め状況を常に把握しておく。

4. その他

次回会議開催予定：令和2年4月8日（水）午前8時30分～